

巻頭言

人口減少社会とDX推進が我々にもたらすもの

ページ
3

福井 小紀子 (ふくい・さきこ)

東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学 教授

1993年東京大学医学部保健学科卒業(看護師・保健師資格取得)、2000年東京大学博士号取得。同大学病院勤務、米国ワシントン大学留学、厚生労働省在宅看護専門官、日本赤十字看護大学教授、大阪大学教授を経て2020年より現職。厚生労働省社会保障審議会専門委員(介護給付費分科会介護報酬改定検証研究委員会)等、毎年、厚生労働省の介護サービス・在宅ケア関連の調査研究事業の委員長を複数歴任。高齢者のWell-beingをキーワードに複数の企業との産学連携研究も展開中。ダイヤ高齢社会研究財団理事。

フォーカス
高齢社会

働きながら介護に向き合う — ビジネスケアラーの現状と支援方策 —

4

津田 紫緒 (つだ・しお)

東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 助教

東京医科歯科大学大学院博士後期課程修了。博士(看護学)。病院看護師、大学教員、健康保険組合の顧問保健師、企業の産業保健師などとしての実践を経て現職。専門は地域保健、産業保健。研究テーマは就労介護者支援、保健師の家族支援技術など。

Dia
Report

財団設立30周年記念シンポジウム

「認知症を正しく理解し、ストップ介護離職」

8

先灘 信成 (さきなだ・のぶしげ)

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部 次長

東京大学大学院医学系研究科保健学専攻修士課程修了。1992年明治生命保険(当時)入社、資産運用(国内貸付)、医事調査(保険事故発生率調査)、ヘルスケア事業(特定保健指導サービス開発)、団体年金(年金数理、確定拠出年金)等の業務を経て、2023年より現職。財団では、機関誌Dia Newsの編集、社会老年学文献データベース(DiaL)の企画・運営などを担当。

財団
研究紹介シルバー人材センターにおける安全就業対策の
充実度評価および事故防止効果に関する共同研究事業

12

石橋 智昭 (いしばし・ともあき)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長 博士(医学)

千葉大学大学院修了。博士[医学](慶應義塾大学)。亀田総合病院(専任研究員)、慶應義塾大学医学部(助教)を経て2011年から現職。専門は、老年学・ヘルスサービスリサーチ。財団では、「ケアの質のアウトカム評価」「高齢者の安全就業に関する実証研究」「生きがい就業の介護予防効果」を担当。

Dia
Information

14

表紙撮影：吉羽健二郎氏「つくばの桜(茨城県常総市)」(2018年4月撮影)

※吉羽氏は、千葉県我孫子市で写真愛好家を対象に「448 SCHOOL」という写真教室をご夫婦で運営されています。